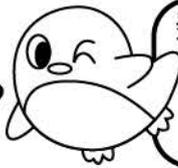


ペンギンレポート



発行所
市民フォーラム
〒183-8703
府中市宮西町2-24

平成23年度決算が認定されました

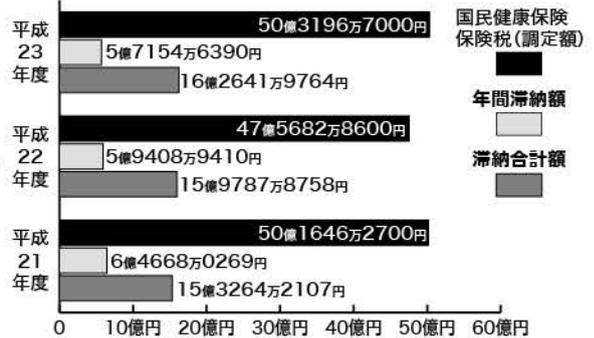
国民健康保険税の滞納5億7154万円

医療費の伸びとともに、保険税の滞納が大きな課題です。毎年、50億円前後の保険税のうち6億円前後が払われないため、税金で穴埋めしています(一般会計から繰り入れ)。

滞納分の収納もあります。毎年それを上回る滞納があるため、滞納残高は年々少しずつ増えています。市税のように給料天引き(特別徴収)ができないため、職員も全力を挙げていますが、なかなか収納率が上がりません。

また、払えないのではなく、払えるのに払わない方も少なくないようで、差し押さえなどの法的措置もとっています。

※府中市は保険料(時効2年)ではなく、保険税(時効5年)です。



理科の実験設備が足りない



今年実施された全国学力テストの結果が、8月に公表されました。結果を分析すると、実験を重視する学校の学力が高くなっていることが分かりました。その一方、予算が少ないため、十分な実験設備を整えられない学校が全国的にも多くあります。

府中市内の小中学校も実験環境はまだ十分とはいえないとの答弁でした。速やかに理科実験の環境を整え、体験学習の充実を図ることを要望しました。

飼い主のいない猫に毎年250万円?

のら猫の去勢、避妊手術のために、毎年250万円の補助金を複数の団体に交付しています。年間170~200匹前後の処置を行っているものの、捨て猫もあり、なかなか減らず、毎年250万円を交付しているとの答弁です。しかし、元々どのくらいのがら猫がいて、どのくらい減少したのか、しなかったのかなど、効果の検証は行っていないそうです。手術していない猫を毎年170~200匹も見つけているにもかかわらず???

団体に補助をするという現在の取り組みが、方法論として適切かどうかも含めて検討を求めました。



新教育長に浅沼氏就任

最終日に教育委員3名の人事議案が提出され同意、10月1日の教育委員会において、浅沼昭夫教育長と崎山弘委員長が決定、就任されました。

浅沼教育長は7中、1中の校長を経験され、多くの方から高く評価されています。また、崎山委員長は、小児科医としての経験はもちろん、教育委員としても長年活躍されています。新体制に大きく期待が膨らみます。

障害児の放課後等デイサービス

来年度からのサービス実施に向けた準備のため、オンリーワンとメロディの2法人に対し補助金が交付されます(9月補正)。

市内の放課後等デイサービスはこの二つ。必要な支援を細々とつないでいる感は否めません。

生涯学習センターが変わる

生涯学習センターが平成25年4月から民営化します(指定管理に移行)。その事業者選定が行われていましたが、この度(株)コンベンションリンクエジ、住友不動産エスフォルタ(株)、鹿島総合管理(株)の3社からなる「ふちゅう生涯学習センター共同事業体」が候補者として決定しました。

市立保育所の一部民営化

多様化する保育ニーズに対応するため、市立保育園の管理運営について、一部民間活力の導入を進めることになりました。

今年度内に市民参加の保育検討協議会を設置し、地域における子育て支援のあり方についても検討を行います。

今年の事業仕分け (事務事業点検)

で、二つのセンターについて取り上げられましたが、私の認識とはギャップがありました。

コスト意識は、もちろん重要ですが、両センターは、市民の権利を守ることが目的であり、コストを度外視してでも行なうべきだと考え、一般質問で取り上げました。

権利擁護センター「ふちゅう」

一般質問①

Q 設置目的について？

A 自ら適切な契約行為等を行うことが難しい認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力が不十分な方の保護を行うことを目的にしています。

Q 困難なケースとは？

A 訪問や電話連絡、連絡調整など、日常支援で、1か月平均53回、26時間程度、また、精神障害の方の成年後見で、1か月平均43回、10時間程度の対応をしているケースがあります。

Q 今後の役割について？

A 市民後見人の育成、市民後見人を支援する後見監督人の受任、困難事例に対する法人後見の受任など、地域における権利擁護事業を推進し、判断能力の不十分な方へのセーフティネット機能を担うことにあると考えております。

子ども家庭支援センター「たち」

一般質問②

Q 設置目的について？

A 平成16年の児童福祉法の改正により、市区町村業務として児童相談が位置づけられるとともに、児童虐待の未然防止・早期発見が求められたことを受け、児童虐待を含む対応すること。

Q 業務概要と特色について？

A 子どもと家庭に関する総合相談事業、交流ひろば事業、情報提供事業、ファミリー・サポート・センター事業、お子さんを一時的に預かるリフレッシュ事業など。「たち」の特徴は、児童虐待対応を行なう先駆型の子ども家庭支援センターとして、虐待の迅速対応を行なっているほか、虐待にまで至らないよう、家庭に対して専門職派遣を行なっております。

Q 相談実数と多い相談の上位5位まで？

A 毎年、700件前後の実数があります。平成20年に実施した市民意向調査では、子育てに自信を持たなくなることがあると答えた就学前、小学生の保護者は6割を越えていました。相談内容の多い順に、①経済的課題、ひとり親、保護者の精神疾患などの養育困難②育児・しつけ③児童虐待④子どもの疾患⑤集団生活になじめない、落ち着きがないなどの子どもの性格・行動

Q 困難なケースとは？

A 古い事例では、9年以上の継続事例が6件ありますが、このような長期の虐待事例の場合、問題が複雑化したり、子どもの成長とともに新たな問題が発生することもあり、保護者の事情に合わせ、支援員が日中に限らず休日・夜間を含めた頻回の電話連絡や訪問を行い対応しています。

Q 今後の役割について？

A 子育てが家庭が孤立することのないよう、地域全体で支援できる体制づくりのため、さまざまな資源を活用して、地域に子育てと家庭を支援するネットワークをつくり、「たち」がこのネットワークの中心として、円滑な連携・協働体制を整えていくことであると考えています。

人は誰もが自信を持って強く生きているわけではありません。子育てに頑張って、いっぱいいっぱいになって、精神的に追い詰められるお母さんも決して少なくありません。昔の親が今の親より決して強く立派だったわけではなく、その親を支えるおじいちゃん、おばあちゃんやご近所の方たちなど、かつては親を支える仕組みが備わっていました。しかし、現代のように核家族化し、地縁も血縁もなく、孤立無援で子育てをしなければならなくなった状況の中で、全てを親の責任にしてしまうのは余りにも安易です。

先ほどの子育てに自信がなくなることがある保護者が6割という数字から見ましても、個人の課題ではなく、社会問題であることがわかります。地域で支える、社会で支えることが必要です。「たち」は昔のおじいちゃん、おばあちゃん、近所のおばさんに代わってその役割を果たしている場所ともいえます。(一般質問から抜粋)



山上みのる

府中市議会議員 会派：市民フォーラム／民主党東京都府中市支部政策委員

事務所所在地 〒183-0056

東京都府中市寿町3-9-18-102

TEL・FAX 042-366-3543

E-mail yamagami_229@nifty.com

URL <http://yamagami.a.la9.jp/>

郵便振替 00160-8-607854 (山上みのる後援会)

ご意見ご要望をお寄せ下さい。ご支援も宜しくお願ひします。